

75歳以上を差別する

自民・公明政権が  
4月実施を強行!!

# うば捨て制度は 後期高齢者医療制度 中止・撤回しかない!!

「長寿医療  
制度」と  
名前を  
かえ  
ても  
中身は  
おなじ



こんなにひどい 後期高齢者医療制度

## 保険料は

75歳以上の「全員」から徴収

滞納すれば保険証取り上げ

年金から「天引き」

## 受けられる医療は

外来は…… 複数の医療機関を受診させないように「主治医」を一人に決め、  
医療費を定額制に。

入院は…… 「退院支援計画」を作って退院させた医療機関への報酬を増やし、病院からの追い出しを促進。

終末期は… 延命治療の意志を事前に確認。患者や家族に治療中止を強制することにつながりかねない。

現役世代にも  
「支援金」  
負担が…。

国の医療予算を  
もっと増やせ!

自民・公明政権がおしすすめた「構造改革」のせいで毎日のくらしになくてはならない医療、年金、福祉、介護など社会保障費が削減され、国民負担がどんどん増えています。社会保障予算は2002年度の3,000億円予算削減を皮切りに、すでに1兆4,000億円が削られ、今後も2011年まで毎年2,200億円削減。

削減分は国民負担へ転化されるのだからたまったものではありません。

「構造改革」による貧困と格差の拡大で国民生活はもう限界。いまこそ医療予算、社会保障予算をふやす時です。

中止・撤回できる!!  
国民の怒りと要求を国会に届けよう!

「制度」の抜本的見直し、中止・撤回を求める地方議会意見書が550議会(08.4.7現在)を超え、「制度」への協力を拒否する医師会が続々と。国会では野党4党が共同で「制度」廃止法案を提出…。国民の怒りと要求をもっと国会に届け、後期高齢者医療制度を中止・撤回させましょう!!



# 高齢者に負担増と差別医療を強いる 後期高齢者医療制度の中止・撤回を 求める請願

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

年 月 日

紹介議員

## 請願趣旨

政府は、75歳以上を対象に「後期高齢者医療制度」を実施しました。同制度は①これまで保険料負担のなかった扶養家族を含めて、75歳以上の全ての高齢者から保険料を徴収する、②月額1万5000円以上の年金受給者は年金から保険料を天引きする、③保険料滞納者は保険証を取り上げ、窓口で医療費全額を負担させる、④75歳以上を対象にした別建ての診療報酬（医療保険から支払われる医療費）を設定し、高齢者に差別医療を強いるものです。さらに、65～74歳の国保料を年金から天引きし、70～74歳の窓口負担を1割から2割へ引き上げ、負担を押しつけようとしています。

すでに2006年10月より、長期入院患者への食費・居住費の負担増、現役並所得者の2割から3割負担への引き上げが実施されました。歳を重ねれば誰でも病気にかかりやすくなります。高齢者に必要十分な医療を保障することが当然であるにもかかわらず、年齢のみで差別するような医療制度は世界に例を見ません。後期高齢者医療制度は高齢者に「早く死ね」と言わんばかりの「うば捨て制度」であり、憲法に保障された生存権も、基本的人権、人としての尊厳をも踏みにじるものです。高齢者からの収奪と医療費削減を目的とした後期高齢者医療制度の中止・撤回を求めます。

## 請願事項

- ① 後期高齢者医療制度は、中止・撤回すること。
- ② 70～74歳の窓口負担の2割への引き上げを止めること。
- ③ 医療につかう国の予算を増やして、高齢者・国民が安心して医療を受けられるようにすること。

氏名	住所

※この署名は、国会に提出する以外に使用しません。